

品番 LYQ33 (50Hz) LYQ34 (60Hz)

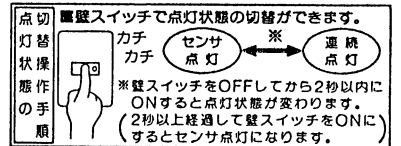
お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。
 必ず、工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ


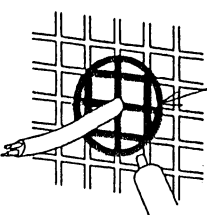

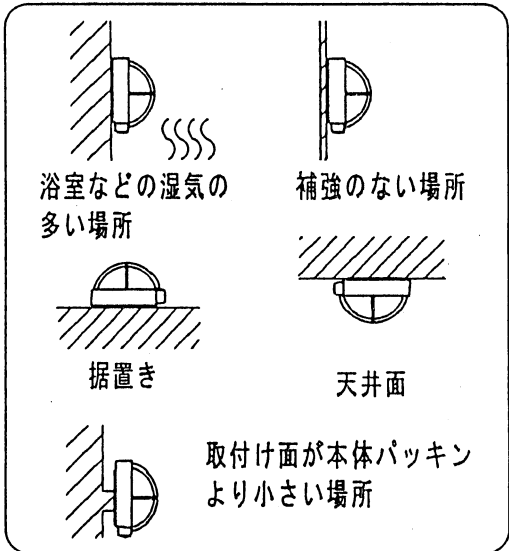


施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
 取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

●ご使用にあたって、このシールをセンサ照明器具用の壁スイッチに貼り付けてください。





安全に関するご注意

警告

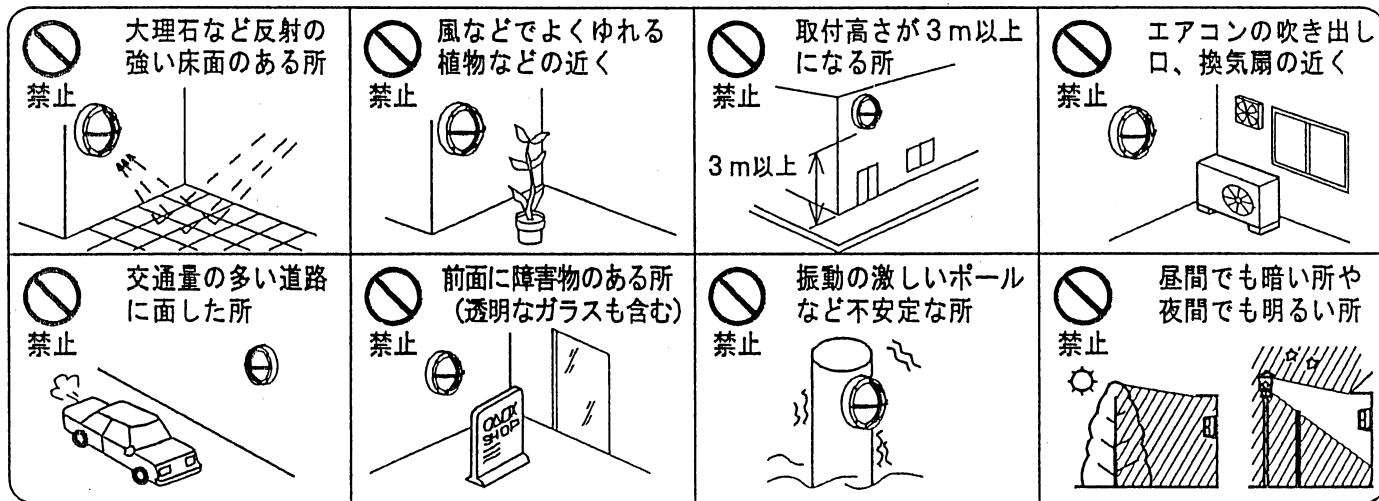
 必ず守る	<p>■ 器具の取付けは、施工説明書にしたがい確実に行ってください。 取付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。</p> <p>■ タイル面など取付け面に凹凸がある場合は隙間を埋めてください。</p>  <p>パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。</p> <p>本体パッキンと取付面との隙間を防水シールなどで埋めてください。</p> <p>● 防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。</p>	 禁止	<p>■ こんな場所には取付けないでください。 この器具は防雨型・壁面取付専用です。下図のような取付けは、火災・感電・落下によるけがの原因となります。</p> 
	<p>■ 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実にこなしてください。</p> <p>接地が不完全な場合、感電の原因となります。</p>		<p>■ 交流100ボルト以外で使用しないでください。 過電圧を加えると過熱し火災・感電の原因となります。</p> <p>■ 器具表示の指定方向以外では取付けないでください。 指定外の取付は火災・感電・落下によるけがの原因となります。</p>
 アース線接続			 禁止

注意

 禁止	<p>■ 温度の高くなるものの上に取付けないでください。 ガス機器やその排気筒の上に取付けないでください。火災の原因となります。</p>	 禁止	<p>■ 調光器との併用はしないでください。 ライトコントロール・明暗スイッチなどとの併用はしないでください。 火災の原因となります。</p>
---	---	---	---

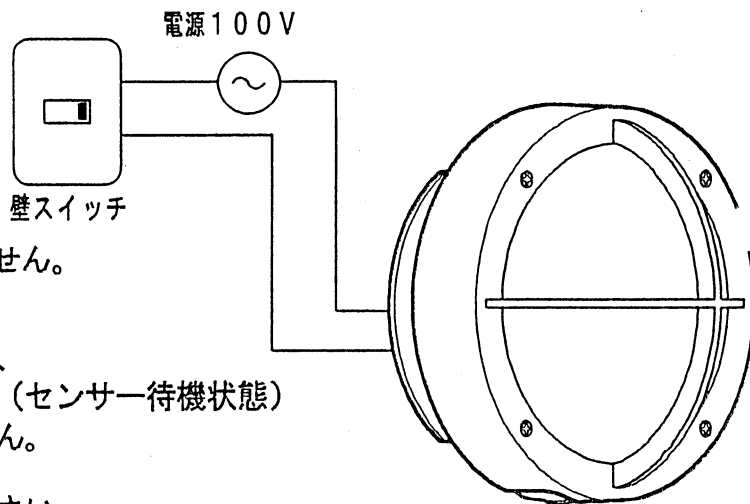
取付場所について

- センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、「設定のしかた」(P4)の項目をよくご覧のうえ、設定してください。
- 次のような場所には取付けないでください。
 - ・このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。



配線について

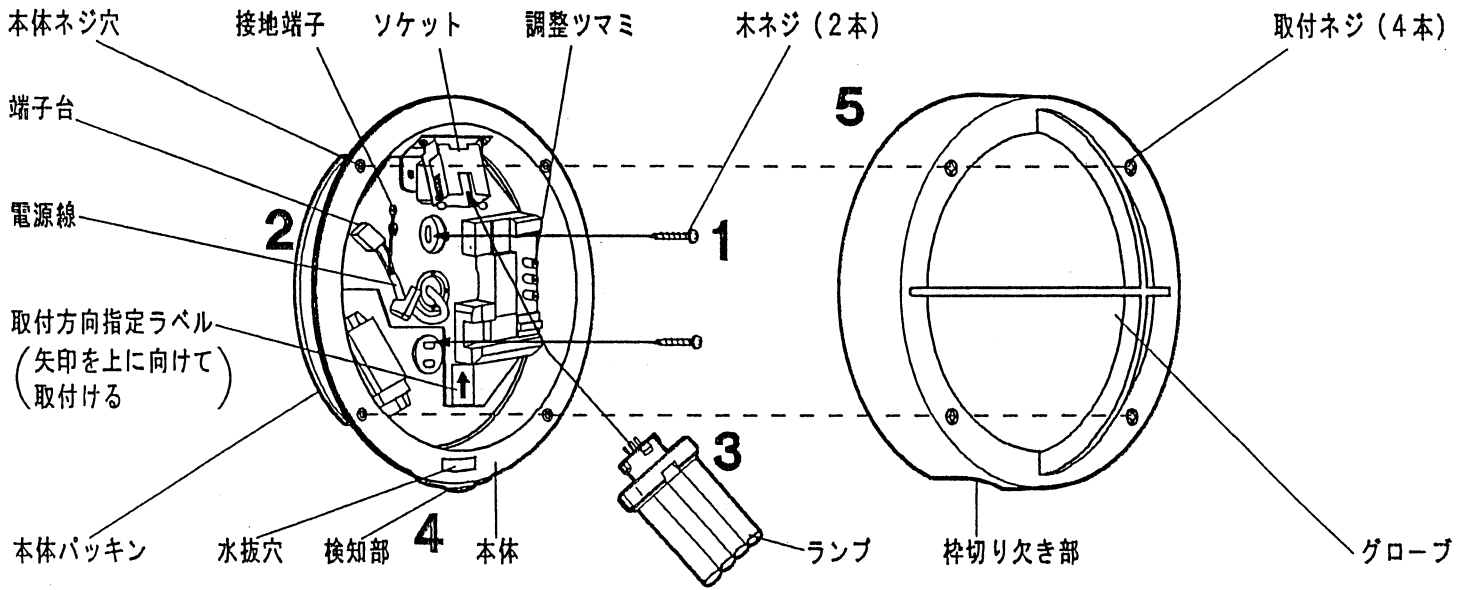
- 壁スイッチは必ず併設してご使用ください。付属されていませんので別途ご用意ください。
- 壁スイッチがないと、...
 - ・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
 - ・センサに関係なく強制点灯することができません。
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチをONにしても照明器具が消灯状態(センサー待機状態)のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。
- 壁スイッチは器具1台につき1コでご使用ください。2台以上の器具と接続すると連続点灯モード(取扱説明書参照)に切り替えるときに不具合が生じます。



各部のなまえと取付け方

⚠ 注意

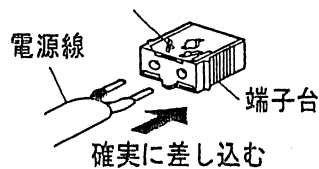
取付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となります。



- 1** 壁面の補強材のある場所に付属の木ネジ2本で、取付方向指定ラベルに従い本体を取付ける
●水抜穴を下にして取付けてください。
取付けが不完全な場合、感電・落下によるけがの原因となります。
取付ピッチ 66.7mm, 83.5mm

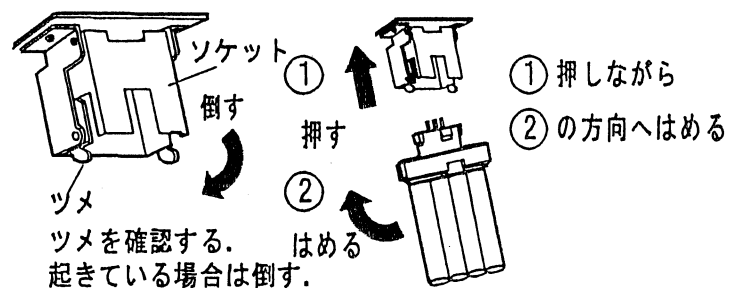
- 2** 端子台に電源線を接続する
接続が不完全な場合、火災の原因となります。

はずし穴 (電源線解除用)



適合電線
VVF
φ1.6
φ2.0単線

- 3** ソケットにランプを取付ける

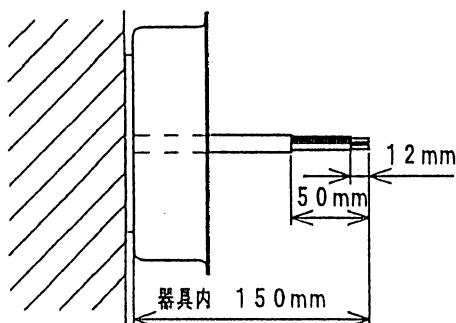


- 4** 検知部の調整と調整ツマミを設定する

●「設定のしかた」(P4)を参照して設定してください。

- 5** グローブを片手で支えながら、枠切り欠き部を検知部に合わせ、付属の取付ネジ(4本)でグローブを取付ける

●本体ネジ穴に合わせて取付ける。
グローブを支えていないと、落下によるけがの原因となります。
取付けが不完全な場合、感電・落下によるけがの原因となります。



●接地端子ネジからD種(第三種)接地工事を行なってください。

設定のしかた

検知範囲の設定は、屋間に行うこともできます。

壁スイッチがOFFになっていることを確認してください。

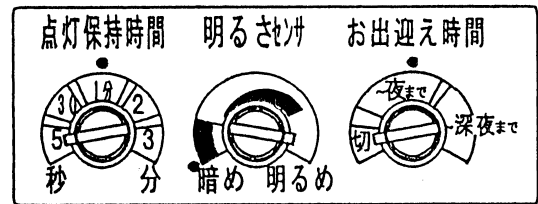
1 グローブをはずす

「各部のなまえと取付け方」(P3)を参照してグローブをはずしてください。

2 検知範囲を設定する

(1) 調整ツマミの設定を変更する

- ・点灯保持時間を「5秒」にする。
- ・明るさセンサを「明るめ」(右いっぱい)にする。
- ・お出迎え時間を「切」にする。



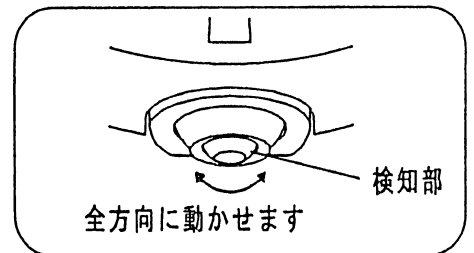
(2) 壁スイッチをONにし、検知範囲の外へ出て待ち、約30秒後に消灯することを確認する。

- ・消灯しない場合は次のような要因が考えられますので処置を施してください。

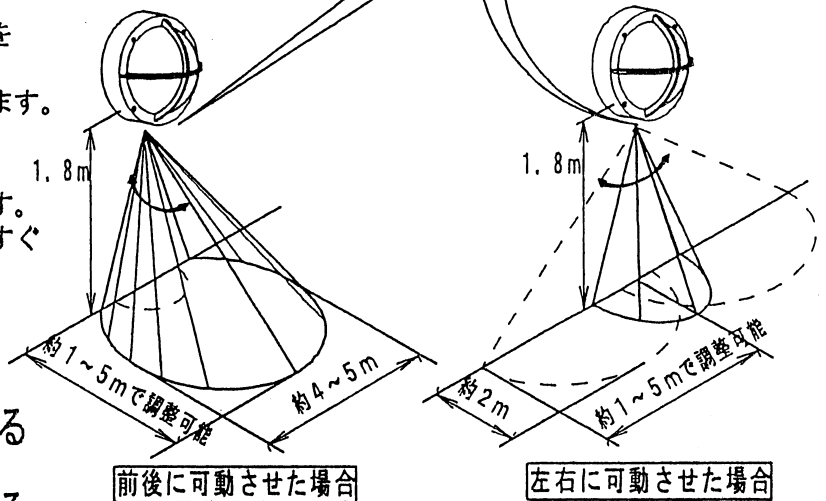
- お出迎え時間が「切」になっていない → 「切」にする
- 強制点灯になっている → 壁スイッチを一度OFFにしてから再びONにしてください

(3) 検知範囲を調整する

- ・検知部を動かして現場に合った検知範囲を設定してください。

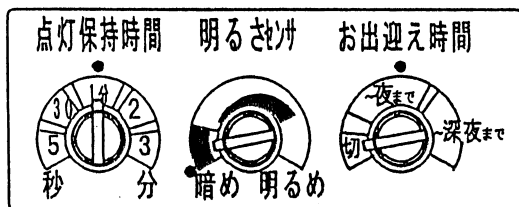


- 注) ・本センサは人の動きなどの温度変化分を検知するため、人以外の熱源(動物等)が移動したときも検知する場合があります。
- ・検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、人の温度、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。
 - ・センサの性能上、器具に向かってまっすぐに接近した場合は、より近づかないと検知しない場合がありますが故障ではありません。



3 一旦、壁スイッチをOFFにする

4 調整ツマミを使用状態に設定する



- ・点灯保持時間を「1分」にする。
- ・明るさセンサを「暗め」にする。
- ・お出迎え時間を「切」にする。

取扱説明書の「この器具の使いかた」(P1)を参照し、どのモードで使用されるかを必ず検討の上調整ツマミの設定を行ってください。

(左記設定では暗くなって人が近づいたときだけ点灯します)

5 グローブを取付ける

「各部のなまえと取付け方」(P3)を参照してグローブを取付けてください。

6 壁スイッチをONにする

東洋エクステリア株式会社

取説コード

Z004